



全ての一般照明用 蛍光ランプ(蛍光灯)について 製造・輸出入の禁止が決定しました。

- 「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」で、全ての**一般照明用蛍光ランプ(蛍光灯)**について、**製造と輸出入の禁止が2027年末まで**と決定しました。
- 禁止となるのは製造と輸出入です。流通在庫の販売や購入、使用することは禁止されません。
- 一般照明用高圧水銀ランプ**については既に**(2020年末まで)**、製造と輸出入が禁止になっています。



水銀に関する水俣条約とは

水銀に関する水俣条約とは、水銀の一次採掘から貿易、水銀添加製品や製造工程での水銀利用、大気への排出や水・土壤への放出、水銀廃棄物に至るまで、水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定める条約です。

経緯

国連環境計画(UNEP)では、第25回管理理事会(2009年)において、国際的な水銀の管理に関して法的拘束力のある文書(条約)を制定するための政府間交渉を開始すること、そのための政府間交渉委員会(INC)を設置して2013年までのとりまとめを目指すことに合意しました。政府間交渉は2010年に開始され、2013年1月に「政府間交渉委員会第5回会合」(INC5)において条約の条文案が合意されました。2013年10月には、熊本県で外交会議が開催され、「水銀に関する水俣条約」として条約の採択及び署名が行われました。

【記載条件】

・蛍光ランプの水銀含有量基準はいずれも1本または1個当たり。

・「一般的な照明用」とは「照度を確保するものであって、高演色用および低温用その他特殊用途にのみ用いられるもの以外のもの」をいう。

ランプの種類	外観(例)	最初の条約規制禁止期限	追加条約禁止期限	
高圧水銀蒸気ランプ(HPMV)		一般照明用 基準なし (水銀を使用しないこと) 2020年 禁止		
電球形蛍光ランプ(CLFLi)		一般照明用 30W以下 Hg(水銀)5mg超 2020年 禁止	一般照明用 30W以下 水銀含有5mg以下 2025年 禁止	一般照明用 30W超 水銀含有全て 2026年 禁止
		一般照明用 30W以下 水銀含有5mg以下 2026年 禁止		
直管形蛍光ランプ(LFL)		一般照明用 <三波長形蛍光体> 60W未満、Hg 5mg超 <ハロゲン酸塩蛍光体> 40W未満、Hg 10mg超 2020年 禁止	一般照明用 <三波長形蛍光体> 60W未満、Hg 5mg以下 60W未満、Hg 5mg以下 60W未満、Hg 5mg超 2027年 禁止	一般照明用 <三波長形蛍光体> 40W以下、Hg 10mg以下 40W超、水銀含有全て 2026年 禁止
非直管形蛍光ランプ(NFLs)				一般照明用 <三波長形蛍光体> 全てのW 2027年 禁止 <ハロゲン酸塩蛍光体> 全てのW 2026年 禁止

事故トピック

事故発生時は誰もが気が動転して、冷静な判断ができないものです。



もしも事故に遭われたら…

あわてず落ち着いて、次の手順でご対応ください。



弊社オリジナルサービスの「事故連絡カード」に事故発生時の手順と保険会社各社のフリーダイヤルが記載されておりますので、運転時にはご携行をお願いいたします。

浜本保険・お客様カルテ(個人契約者用)

また事故後の対応をスムーズに行うため、「お客様カルテ」作成へのご協力をお願いいたします。

「お客様カルテ」は弊社オリジナルサービスです。

詳しくは担当者までお問合せください。



トラブル回避のための 事故連絡カード



【いつ・どこで・だれが
どうして・どうなった】?

を落ち着いて伝えてください。

生保トピック

免疫療法

免疫の力を利用してがんを攻撃する治療法です

私たちの体は免疫の力によって、発生したがん細胞を排除しています。免疫では、免疫細胞と呼ばれる血液中の白血球などが中心的な役割を果たします。このうち「T細胞（リンパ球）」には、がん細胞を攻撃する性質があり、免疫療法で重要な役割を担います。しかし、T細胞が弱まったり、がん細胞がT細胞にブレーキをかけたりしていると、免疫ががん細胞を排除しきれないことがあります。免疫ががん細胞を攻撃する力を保つ（ブレーキがかかるのを防ぐ）ことなどにより、免疫本来の力をを利用してがんを攻撃する治療法を「免疫療法」といいます。



「効果が証明された免疫療法」は限られています。

現在の免疫療法には、治療効果や安全性が科学的に証明された「効果が証明された免疫療法」と、治療効果や安全性が科学的に証明されていない「効果が証明されていない免疫療法」があります。近年研究開発が進められていますが、「効果が証明された免疫療法」は、まだ一部に限られています。また、治療法や薬ごとにがんの種類も限られているものの、保険診療（公的医療保険）で受けることができます。

「効果が証明された免疫療法」にも副作用があります。

「免疫療法」では、従来の化学療法で起こるような副作用は少ないと報告されています。しかし、「効果が証明された免疫療法」であっても、全身にさまざまな副作用が起こる可能性があります。また、個人差が大きく、いつ、どんな副作用が起こるか予測がつかないため注意が必要です。そのため免疫療法は、副作用に十分に対応できる体制が整っている医療機関で受けれることが大切です。

「効果が証明されていない免疫療法」のうち、「自由診療として行われる免疫療法」は、治療効果・安全性・費用について慎重な確認が必要です。

「効果が証明されていない免疫療法」は、治療費を患者が全額自費で支払う「自由診療として行われる免疫療法」と、治療効果や安全性を確認するために行う、臨床試験や治験などの「研究段階の医療として行われる免疫療法」に分けられます。「自由診療として行われる免疫療法」は、効果が証明されておらず、医療として確立されたものではありません。「自由診療として行われる免疫療法」を考える場合には、治療効果・安全性・費用について慎重な確認が必要ですので、必ず担当医に話しましょう。また、公的制度に基づく臨床試験、治験などの「研究段階の医療として行われる免疫療法」を熟知した医師にセカンドオピニオンを聞くことをお勧めします。セカンドオピニオンを聞きたいときも、担当医に相談しましょう。

※出典先：国立がん研究センター



見直してください あなたの暮らしの保障
浜本保険株式会社

■本 社／兵庫県加西市北条町横尾313-1 A-NOVA SANWA BLDG 1F
TEL.0790(42)1223㈹ FAX.0790(43)1205
■高砂営業部／兵庫県高砂市荒井町御旅2丁目1番1号
TEL.079(442)3515㈹ FAX.079(442)3054
■HAMAMOTO CONSULTING OFFICE
兵庫県姫路市北条梅原町119北条梅原350ビル
TEL.079(225)5551㈹ ㈹ 0120(920)903

